

学校だより

大津市立葛川小・中学校

平成26年6月号

交通安全教室実施

葛川駐在所の辰巳さんに来校頂き、小学校は5月2日、中学校5月15日に交通安全教室を実施しました。

小学校は1・2年生を対象に、教室でのお話に続いて学校前の国道367号の横断歩道を渡る練習もして頂きました。国道367号は、時間帯によっては通行量も多く、道幅も広いのでかなりのスピードを出して車が行き交います。大人が見ていても緊張をすることがあります。押しボタンをしっかりと押して、青信号になっ



たのを確認して横断歩道を渡る習慣を、きちんと身につけてほしいと願っています。また、中学校では、全校生徒が自転車による事故

を中心に学びました。被害者という立場から、自分が自転車を運転することで加害者になることを知り、場合によっては、刑法による罰則や損害賠償の対象になることを教えて頂き、自転車の運転について考えを深めました。

「学び」を深める授業実践を

本校は、小中学校ともどのクラスも極少数人数です。そのため、先生が生徒にきめ細かに関わられるという良さがあります。それぞれの児童生徒の課題や伸び具合を常に理解しながら、授業や特別活動に取り組んでいます。特徴的なこととしては、体験活動を数多く取り入れています。地域のボランティアの方をゲスト・ティーチャーとしてお招きし、お話を聞いたり、もの作りをしたりして本物に接して学ぶことを大事にしています。その時々児童生徒の目の輝きや活動への意欲を、そばから見ていて感動することがたびたびあります。

一方で、本校のような少数人数の学校では、児童生徒にきめ細かく関わることで陥りやすい盲点があります。それは、先生と個々の児童生徒の距離が近すぎ、子どもたちは、分からないことがあるとすぐに「先生、これどうするの。」と尋ね、先生はそれに対して、親切に即答する傾向があります。これをくり返すと、児童生徒は粘り強く考えたり、仲間同士で考えを深めようとしない傾向が見られます。

5月15日(水)の校内研究会に、「学びの共同体」

スーパーバイザーの倉知雪春先生に講師としてお越し頂きました。少人数でも子どもたちが生き生きと「学び合う」には、どのように授業を工夫すればいいのか。このことを教師の研究課題として、今後取り組んでいきます。

今年も学校林活動始動!!

平成23年度から始めた「学校林活動」。子どもたちが、地元の山で木を育て、自然との関わり方や「環境問題」について考えを深めることを目的として取り組んでいます。

ご存じのように、平成25年度には、その活動が評価され「全日本学校関係緑化コンクール学校林等の部」で準特選に選ばれました。

今年度第1回目の学校林活動は、5月29日(木)に行いました。小学生全員と中1生徒で、学校から「学校林」のあるアシビ谷までの3.5kmの道のりを汗をかきながら歩きました。現地では、すでに森林組合の中西さん・織田さんが下準備をして待っておられました。冬場に雪の重みで倒れかかった木をおこす「木おこし」の作業やシカに葉っぱを食べられたヒノキの苗の植えかえやネット張りの作業を協力してやりました。順調に育ったスギの木は、2m近くになっています。これからもどんどん成長を重ね、小学校入学時にこの活動に参加した児童が中学校を卒業する頃には、どんな立派な木に育っているのか想像しただけで、やりがいを感じます。この後、夏休みには下草刈りも行います。ふるさとの山に、私たちの手で木を増やしたという体験は意義のあることではないでしょうか。



春季総体を終えて



中学3年生は、春季大会にいろんな思いを持って臨みました。現在、中学生8人(男3人、女5人)全員がバドミントン部に所属しています。毎日の放課後練習や土・日の練習に励んできました。大会前には、他校へ練習試合に何度か行きました。試合では、集中力が続かず思うとこへシャトルを返せなかったり、体力不足で身体がしんどくなって、相手のペースになってしまい、いい結果が出せなかったようです。しかし、各自それぞれに課題が見つかったので、夏の大会に向けて一生懸命取り組み、悔いの残らないようにしたいと誓いました。

中1生、鯖街道歩く！

中学1年生2名が、2泊3日(5/26~28)の「ふるさと体験学習」に参加しました。1日目は、歴史的にも有名な鯖街道を、歩いてたどってみようということで挑戦しました。まずは腹ごしらえ(?)にと、花折れの鯖寿司を食体験した後、途中から京都の錦市場までの間を歩きました。雨の降る中、日本海で捕れたサバがどのように運ばれていったか想像しながらのハイキング。2日目は、アマゴの手づかみ体験と野外炊事。伊香立中の生徒との共同作業でもありました。他校生徒との活動は、はじめは緊張もしたけれど、協力して作ったごはんはとってもおいしかったそうです。夜には、プレールームでキャンドルセレモニーをしました。続いてゲーム大会。先生たちが10人くらい応援に駆けつけてくれて、「ハンカチ落とし」や「秘密鬼」が大盛り上がり。先生たちが汗をかく真剣な姿に、2人はお腹を抱えて笑っていたとか…。とてもおもしろかったようです。



長崎・博多 思い出の修学旅行



出発の何日も前から、「天気どうやろなー。」と心配する会話が職員室でささやかれていました。6月4日から2泊3日の修学旅行に、3年生4人と引率の教員3人で長崎・博多へ行ってきました。ボランティアガイドの「さるく」さんに、平和公園、如己堂、浦上天主堂など、被爆地長崎を案内して頂き、戦争の悲惨さと愚かさ、被爆者の苦しみや悲しみを知り、平和記念像の前で平和への思いを誓いました。

夕食後、東洋の3大夜景として知られる「長崎の夜景」を楽しみました。2日目の午前

中は、生徒たちだけで、長崎の町を自主研修

平和への願い

原爆投下で、焼け野原になった長崎、やけどを負った人の姿は目を背けたくなるほど怖かった。「核」の時代と言われる現代において、「核兵器」が使われたら、多くの人の命が奪われます。「世界の人々が仲良くなって平和な世の中になってほしい。」と私はいつもそう思います。世界に平和が訪れることを願い続けたいです

し、午後からは、長崎港から船に1時間以上乗り、「軍艦島」へ行きました。「軍艦島」は近代日本の産業の発展を支えた海底炭鉱の採掘の島で、当時そこで働く人たちの生活の様子をガイドさんから詳しく説明して頂きました。心配した天気は「ウソ」のように晴れ渡り暑い日となりました。

